（様式1）

学校番号	10	学校名	県立　太田第一　高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・本県教育目標
・学校教育指導方針
・学校経営計画表
・学校自己評価表

校訓

至誠　剛健　進取

学校の教育目標

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む。

生徒の実態

・学校行事や探究活動などに積極的に参加する姿が見られるが、自己理解の不十分さや自信不足から挑戦や失敗を恐れてしまう生徒も見られる。
・特別活動において他者への配慮や集団への貢献意欲は高いが、リーダーとして集団をまとめるなど、個の役割に応じて主体的に活動する生徒が少ない。

保護者の願い

・物事を正しく判断し、明るく健全な生活のできる生徒
・希望の進路を実現させ、将来、地域社会に貢献できる生徒

道徳教育重点目標

・道徳教育の充実を図り、豊かな心の育成に努める。

地域の実態

少子高齢化・過疎化の影響を受けているが、教育への関心が高い地域であり、本校への関心や期待が高く、教育活動に協力的である。

各教科・科目

国語	感性を豊かにし、社会の在りかたや人間の生き方についてより深く考えさせるとともに、日本語の文化や伝統を大切にする態度を養う。
地歴	日本および世界の歴史と文化を理解し、国際社会の一員としての資質を身につけ、よりよい人間形成をはかる。
数学	数学的な見方や考え方を活用する態度を身につけ、主体的に問題解決に取り組むことにより、公正かつ適切な思考力と判断力を育成する。
理科	実験・観察をとおして、協働性や科学的根拠に基づいて思考・判断する力を身に着け、持続可能な社会を実現しようとする態度を養う。
保体	各種の運動や主体的体験をとおして、心身の健康を保持増進し集団生活に必要な態度・責任・協調性を養う。
芸術	優れた芸術作品に触れるとともに、制作や鑑賞、活動をとおして豊かな情操と感性を養い、生活を豊かにしようとする態度を養う。
外国語	国際理解と異文化理解の素養を身につけ、相手の意思や意向を理解し、コミュニケーションを図る態度を育てる。
家庭	家族の在り方や男女の協力関係を理解し、体験的学習をとおして、生活の充実と自己の将来設計を図る実践的な態度を育てる。
情報	情報を活用する技術を学ぶことをとおして、社会の中で多様な情報を適切に扱うモラルとマナーおよび判断力を養う。
総合的な探究の時間	身の周りの課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む意欲を高める。 自らの興味・関心について探究・発表する経験を通じ、主体的・継続的に学ぶ態度を育てる。 個人で解決できない課題に、個の特質を生かし、他者と協働して取り組む姿勢を育てる。 多様性を受容し、グローバルな視野で思考・判断・表現する力を育てる。
専門	選択履修をとおして個性の伸長を図り、視野を広げるとともに主体的に学ぶ態度を養う。

特別活動

ホームルーム活動

1 様々な活動をとおして、集団における役割を自覚し、信頼しあえる人間関係を築き、協働して課題を解決する態度と自主性を養う。
2 ライフスキル活動等をとおして、自己の適性を理解し、健全な人生観や職業観を確立させ社会性を養う。

・ 諸行事や諸活動での体験をとおして自主性、協調性、および豊かな心を育成する。
「LHR活動」「生徒会活動」「体育デー」「対面式」「生徒集会」「委員会活動 」「青龍祭」「中高合同探究活動」「卒業50・25周年生による講演会」「修学旅行」「キャリア講話」「薬物乱用防止講話」「交通講話」「メディア講習会」「中高合同探究発表会」など

公民科

公共

・個人として、また国家・地域社会・家庭等の構成員として、公共的な空間を形成し、よりよく生きるための基礎的・基本的な知識を習得する。
・予測困難な現実社会に目を向け、他者と協議協働しながら、諸課題の解決に主体的に取り組もうとする能力を育む。

・公民科の学習を通して、世界的視野で民主的かつ持続可能な社会を志向・創造できる意欲・能力を育む。

生徒指導

・挨拶の励行を指導し、場面に応じた身だしなみを考えさせる。
・時間と規律を守らせる。
・マナーアップ活動により社会性と公徳心を養う。
・交通事故防止を徹底する。
・思いやりの心とマナーの大切さを理解し、情報モラルの向上及び、自己の判断で望ましい行動のできる生徒の育成に努める。

家庭との連携

・進路情報、青龍だより、保健だより、図書館だより、PTA会報などの広報活動や年次PTA・クラス懇談、PTA講演会、保護者面談をとおして、共通理解を深め、道徳的実践の進化・ 拡充を図る。
・学校評価により家庭からの意見や要望を取り入れ、道徳教育など教育活動の改善に努める。

地域社会との連携

・本校ウェブサイトでの広報活動や学校行事への一般参加、ボランティア活動、インターンシップ、 交通安全運動をとおして共通理解を深め、道徳的実践の充実を図る。
・探究活動を通じて地域課題に意識を向け、地域団体とともに地域の活性化に取り組む。